

資料3

資料3 第2回総計審における委員提案(まとめ)について

- 第2回総計審では、多くの資料を基に、「今後6年間に必要な施策事業は何か」についてグループ討議をしていただき、最後に各委員が重要だと考える内容をカラー画用紙に記述していただきました。
- 本表は記述いただいた提案をまとめたものです。

＜第5次犬山市総合計画中間見直し＞

今後6年間に必要な施策事業(第2回総計審における委員提案まとめ)

Aグループ

番号	施策分野	提案内容	委員氏名
1	活躍の場づくり	退職する人の人材バンク → まだまだやれるぞ!	A会長
2	活躍の場づくり	資産のファンド化 → 高齢世帯の資金を活用させてもらう。	
3	既存ストック活用	モノバンク → 起業・創業に役立てる! → 市内の遊休人材・カネ・モノを活かして、犬山らしい経済をつくる。	
4	既存ストック活用	既存の物・土地・農地・人・建物 e t c. の活用とマッチング	O 副会長
5	情報発信	市外への広報アピール	
6	担い手育成	まちづくり活動を担う人づくり・その支援+高齢者の生きがいをつくる。	C
7	情報発信	住むイメージの発信、犬山のシーンづくり	
8	活躍の場づくり	高齢者のマンパワー（知恵）というストックを使わせていただく。	F
9	交流促進	社会貢献と他世代との交流づくり	
10	情報発信	今ある魅力の見せ方を考え直す! → 発信	G
11	拠点整備	地域特長のある拠点 → 実行で!	
12	担い手育成	担い手育成 → 実行で!	
13	拠点整備 交流促進	小さな拠点（多世代・多機能型）を形成し、高齢者、若者、小学生、障がい者、介護者の交流施設を作る。地域の住民も参加必須。産直販売施設にする。	I
14	既存ストック活用	有休資産の利用	
15	担い手育成	人材登録が必要	
16	情報発信	あますことなく情報が行き渡ることで観光、特産品、知名度の向上	L
17	公共交通の充実	五郎丸駅	N
18	産業振興	道の駅	
19	公共交通の充実	バスターミナル	

Bグループ

番号	施策分野	提案内容	委員氏名
1	地域課題解決の仕組みづくり	地域の課題は地域で解決していく仕組みを作る。	E 副会長
2	担い手育成	市民の自立心・意欲を引き出す。	
3	健康づくり	健康寿命プラス10	
4	地域課題解決の仕組みづくり	地域に必要なサービスを提供する事業体の起業支援（担い手・シニア・女性・若者）	
5	活躍の場づくり	シニアが経済的価値を創出する支援（介護保険制度改定に向け）	
6	情報発信	外国人観光客へのネットワークを活かした戦略	
7	教育の充実	子どもの個性を伸ばすエデュケーション	
8	既存ストック活用	公施設の活用（売却・貸す）	
9	地域課題解決の仕組みづくり	コミュニティづくりをどうするか？がどの施策でも重要。 地域の課題を地域で解決する努力をし、できない課題を行政が補う（補完性の原則）を、地区ごとに常に話し合える場（共創の場）づくりに力を入れるべき。 「課題×仕事」コミュニティビジネスの視点	B
10	担い手育成	「人作り」 → 市民活動の充実	H
11	活躍の場づくり	女性・高齢者の活躍できる場の提供	
12	子育て支援	子どもを産み、育てることに夢を持てるまちづくり	
13	市民サービス充実	市民それぞれが金銭的、時間的に豊かに暮らせるサービスを楽しむこと。（保育サービス（土日・夜間の実施、無料化）、高齢者サービス、補助（金）など） → その上でないと犬山愛、ひいては犬山を活性化させる市民活動への参加は生まれてこないのではない。	J
14	地域課題解決の仕組みづくり	地域課題を自ら発見し、解決に向けて行動できる自主性を育てる。 （ex. 子どもへの教育、高齢者活用）	K
15	公共施設管理	公共施設の老朽化対策	M
16	公共施設管理	新ゴミ処理施設問題	
17	子育て支援	子育て環境（学校施設等）充実	
18	公共施設管理	未開通道路の整備	
19	活躍の場づくり	高齢化対策	
20	農業振興	農政	